



平成27年12月14日

校長室便り

文責 小川小 福本憲穂

頑張った！成長の一年に感謝



11月15日『ふれあいコスモス祭』での子供達の成長いかがでしたでしょうか。6年生の「ソーラン節」迫力有りましたね。下級生の一つの手本になったと心より嬉しく思います。各学年の創意工夫、学習してきたことの発表の様子を見て、児童の頑張り、先生方の指導、保護者の皆様の生活の整え・励まし、地域の皆様の温かい応援、全てが結実した一つの姿であったと感慨でした。

午後のカルチャー教室でも、子供達の生き生きと学ぶ姿、外部講師の先生方の笑顔、語りかけ、それに応えて活動する小川っ子の姿に笑みが浮かんだのは私だけではなかったと思っています。講師の先生方、大変お世話になりました。有り難うございました。

【授業研究会に思う】

学校では、よい授業を行うために日々研究と実践に取り組んでいます。その一環として、他の先生方が見に来られる研究授業があります。本校では、毎年全員の先生が行っています。11月から12月にかけても4回ほど行いました。本校では、全ての教科・学習活動に関連し、「基盤教科」とも言われている国語を中心に行っています。先日の授業では、子供達が一斉に挙手したり、問いかけに口々に反応するとともに、次の言葉を待つ姿勢をとったりしていました。うなずいたり、「そうそう、同じだ。」などと口にする姿もいいものでした。今大事にされている学習活動に『言語活動』があります。国語の物語文を学習したら、学んだ力で物語を作るといった「単元を通した言語活動」がその一つです。また全教科に関係した、主に友だちと話して学習を深く広く確実なものにする「言語活動」があります。自己表現をし、理解を深めるものです。その入門は、二つです。一つは、「自分の心が動いたことについて、根拠をもとに理由をつけて発表すること」、もう一つは「相手の言った言葉や内容を復唱した後に自分の考えを発表すること」です。ポイントは体験や習ったことを交えて話すことです。様々な行事活動、冬休みでの家庭地域での体験活動など、子供達の心が一番動く頃となりました。ご家庭でもお子さんとじっくり話してみられませんか。上級生であれば、この時期に、保護者の皆さんの人生や仕事での苦労や幸福感などを話していただき、子供達に夢を育んでいかれることを是非にとおすすめ致します。

『宇城地域差別事象に対する危機管理マニュアル』ご存知ですか？ ～ 人を人権を大切に ～

これは、人権教育の一つです。人権教育は、「自分を大切にすると共に、それと同じように他の人を大切にするための言動が出来る」人になることを目標にしています。学校、家庭、地域が共に進めることで皆が幸せ感を持って生きていく社会をつくるのが大事です。ただ、自分を大切に、人を大切にすることはどういうことかとか、どういった言動をするべきか若しくは、してはいけないかをしっかりと知らないために、人権が損ねられる事象が起きていることも事実です。もし、「人権が損ねられる事象（人権侵害）」に出会ったり、見聞きしたりしたときにどうしたらよいかを知っておく必要があります。子供間で起きたら、自分の学校の先生に知らせることです。そして、「その言葉はおかしくないか」と指摘し、相手の先生、保護者に伝えることです。聞いた先生は管理職に知らせます。競技大会で勝つことばかりに集中しているときにこのようなことが起きたことがあります。日頃から、目標を立てて自分に克つ努力を続ける大事さ、負けて、優しさや賢さを育んで成長することをやる活動を進めることが大切と考えています。

【小川町小体連陸上記録会・記録追報】 10月7日（稲川グラウンド）

上位記録の中で、10月校長便りに記載漏れがありました。4年生女子の100メートル3位記録に同タイムで藤岡さんが入っています。申し訳ありませんでした。深謝し、追加報告させていただきます。